

あすならホーム畝傍 グループホーム 運営推進会議議事録

開催日時	2023 年 11 月 17 日（金）10：00～11：50																							
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：4 名（老人会会長）、（民生委員長）、（まちかどネット畝傍 2 名） 3. 市・包括職員：1 名（榎原市長寿介護課） 4. 職員：4 名																							
利用者登録状況 （11 月 10 日現在）	1. グループホーム：17 名 2. 小規模多機能型居宅介護：28 名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：47 名 4. 訪問看護：24 名 5. ケアプランセンター：62 名（要介護） ＜介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>11 月</td><td>0</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>4</td><td>0</td><td>17</td></tr></table>									要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	11 月	0	4	4	5	4	0	17
	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																	
11 月	0	4	4	5	4	0	17																	
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 約 3 年 10 カ月ぶりの対面開催の再開となった。そのため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）ランチ企画 月 6 回（0 と 5 のつく日）6 月から月 3 回で再開し、10 月から 6 回実施） ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1）新型コロナウイルス感染防止に留意。2）自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3）暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、12 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） 学習会 （1）春と秋の「あすなら学習会」を春 3 回、秋 3 回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 （2）福祉講演会（法人）…毎年、年 2 回開催（①9 月 15 日、②12 月 14 日）。 （3）福祉学習会（法人）…年 4 回、「最期まで安心して暮らし続けるために」をテーマに県内各地で開催。 （4）買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週 2 回（火曜日と土曜日）、「移動店舗」が巡回。 （5）ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援 3. 榎原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み （1）当会は、地域包括ケアシステム構築のため、榎原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力																							

	の向上を進め、樞原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。 (2) 公開講演会を12月15日に『認知症当事者の声から社会参加を考える』をテーマに、講師の丹野智文さんを招き開催。 4. 感染症予防：11月～3月 感染症予防月間 (1) 新型コロナウイルス対策＜with コロナ＞ 1) 現状…感染者なし。2) 予防：①利用者…定期的なワクチン接種（11月28日接種予定＜グループホーム等＞）。②職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。3) 面会…コロナが一段落した10月から、居室での家族との面会を再開する。感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアは厳禁。 (2) インフルエンザ ・10月17日 予防接種 利用者（グループホーム等） ・11月14日 予防接種 職員 医療生協みみなし診療所 (3) ノロウイルス ・処置備品の在庫確認と処置訓練 5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照 (1) 入居者の様子 ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。 ②お手伝い（お役立ち）〔自立支援〕…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。 ③おやつ企画、食事企画 ・10月、にゅう麺ときのご飯を皆さんで作って食べた。企画をすると食欲が上がって普段よりたくさん食べる方や熱心に調理に取り組む方がたくさんいた。日頃のメニューとは違って、入居者のリクエストに応え、職員も一緒になって楽しんだ。 6. 防災関連 ○3月11日（水災害避難訓練）、5月10日（消防訓練…日勤帯を想定）、9月1日（地震防災訓練）、10月11日（消防訓練…夜間帯を想定） 7. 地域密着型サービス外部評価 ・外部評価の概要と今後のスケジュールについて、説明した。
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 秋の地域学習会：11月28日（火）開催予定。 (2) 公開講演会：12月15日（水）奈良県社会福祉総合センターにて、『認知症当事者の声から社会参加を考える』をテーマに、講師の丹野智文さんを招き開催。
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 (1) 人の世話になって、初めて健康と介護のありがたさが分かった。あすならホーム畝傍に来て、介護の仕方が施設によって違うことも分かった。あすならホーム畝傍に来て良かった。以前の施設では、ほとんど寝たきり状態だったが、座れるようになり、自分でできることが増えた。 (2) 母が認知症、父が脳梗塞でダブル介護となり、その上、仕事をしていたので、母を預ける施設を探していた。あすならホーム畝傍でお世話になり、助かっている。介護関係の仕事をしているので、介護サービスを利用する立場となって、家族の気持ちが分かった。 2. 地域代表 (1) 母親の介護のため、海外赴任から帰国した。自宅で介護を頑張ってきたが、

	来春、施設入居を検討している。 (2) ならコープ歴 45 年、30 年前に高齢者福祉の取り組み法人で実施していく提案を聞いたが、その当時は、ひとごとであった。 (3) 今後、高齢者はできるだけ在宅生活を過ごしてもらうことが好ましく、そのためにも自立支援が大切となる。 (4) コロナ感染症が 5 類となり、徐々に地域活動が復活するが嬉しい。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023 年度：半年に 1 回）、身体拘束適正化委員会（2023 年度：3 か月に 1 回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2023 年度：年 2 回＜①6・7 月（個人情報保護含む）②2024 年 2 月＞）を実施。 2. 2019 年 9 月 28 日以降、緊急やむ得ない場合も含め、2023 年 11 月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2024 年 1 月 19 日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロンスペース）



2023年7月21日(金)

まとめ・議事録：施設長 橋本 和也

1、ケアラーの会(運営推進会議)メンバー(本日の参加予定者)

※新型コロナウイルスの影響で自粛(開催中止)とさせて頂いた。

2、あすならホーム畝傍の取組み報告

※本まとめに記載。

3、本日出席して頂いている家族さん、参加者の方から…(自己紹介かねて)

※開催中止の為、報告の内容を書面でまとめている。

4、利用者登録状況

(1) 多機能型ケアホームの登録者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6月	3	2	9	7	4	1	2	28

	登録数	泊り 平均	通い				訪問 総数	通院 総数
			総数	日平均	日最高	日最少		
5月	28	5.3	416	13.8	17	4	385	9
6月	27	4.3	403	12.6	17	5	380	9

※7月21日現在の登録人数は27名、平均介護度は2.4の状況です。

(2) グループホームの入居者数

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6月	0	6	4	4	4	0	18

※7月21日現在の入居者は18名、平均介護度は2.44の状況です。

(3) あすなら安心ケアシステムの登録者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
5月	19	4	5	4	4	36
6月	18	5	5	4	4	36

※7月21日現在の登録者は38名、平均介護度は2.16の状況です。

5、取り組み状況と今後の取り組み

【多機能型ケアホーム】

- ・5～6月にかけて多機能は、よく散歩をしました。季節もよく、近所に綺麗な花が咲いているので毎行かれても新しい発見と感動があります。利用者同士で手を繋ぎ歩かれる。写真を撮ると、笑顔でおさめます。
- ・多機能は毎日、体操をします。利用者さんが体操を楽しみにしています。
- ・毎年恒例の七夕は利用者さんが短冊に各々願いを書き、笹の葉に飾りました。



【グループホーム】

- ・6月には事業所の畑で育てているジャガイモを入居者さんとともに収穫しました。

収穫した大きなジャガイモを使ってこふき芋を作りました。皮をむいて頂き、食べやすい形にカット、火にかけている間も出来上りを楽しみにニコニコされていました。美味しいこふき芋ができました。

- ・天気のいい日にテラスに出て日光浴をしました。リハビリ体操・口腔体操も外で行い外気に触れて気分転換になりました。

【あすなら安心ケアシステム・安心支援システム】

- ・ご利用の皆様が楽しく食事が出来るようサポートしています。季節のいいこの時期、お弁当を持って公園で行って食べたり、外食を楽しんだり、一緒に食事をとる時間を作ったりしています。お一人での食事と違い食欲もわくようです。また、食事の話題も広がりいろんな事を聞かせていただけます。

食べることは生きる事！これからも楽しく食事をしていただける取り組みを続けていきたいと思ひます。

- ・長い間入浴できていない・散髪も出来ていない利用者がいました。丁寧にご本人に寄り添い思ひを聞き定期的な入浴が出来るようになりました。定期巡回の特徴でもある随時訪問でその方の生活時間を把握していくことが出来た事も結果に繋がったと思ひます。

6、協同福祉会の取り組み状況報告

- ・5月下旬に多機能型ケアホームにおいて、新型コロナウイルス感染者が発生しました。利用者4名、職員4名の陽性者が出ました。館内アルコール消毒や、感染者への隔離対応で、サービス毎の職員出入口を分けるなどを行い、なんとか感染拡大を止める事ができましたが、今後も気持ちを許さず、職員一同気を引き締めて感染予防に努めたいと思ひます。ご利用者様や関係先にご不便とご心配をおかけしたことをお詫びいたします。
- ・6月10日に『ランチの日』を実施しました。約3年振りの再開です。新型コロナウイルス感染症以前は、30名以上の地域の方が登録されていましたが、現在は3分の1程度まで減ってしまいました。要介護状態になられた方やお亡くなりになられた方もいます。コロナ禍で行われてきた外出自粛や他者との交流を控えるといった行動が、高齢の方々にとっての日常生活に多大な影響があったと感じます。今回の『ランチの日』は、地域の方7名、ボランティアと職員含めて計16名参加していただき、学習会も行いました。元保健師の仕事されていた認知症当事者の方も参加くださり、保健指導やランチのお手伝い、掃除などをしてくださいました。高齢になっても、認知症になっても役割を持って行動する場所がある事が大切であると感じます。新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、10月からは、従来通り『0と5の付く日』月6回の開催を予定しています。

【身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会】委員長：施設長（橋本和也）事務局：事務長（廣岡良一）

- ・2023年6月・7月に職員会議にて身体拘束・高齢者虐待・個人情報保護をテーマに委員会・研修・学習会を実施しました。

2023年7月現在、やむを得ず身体拘束を行っている入居者（グループホーム）の方はおられません。

7、今後の予定

2023年9月15日（金）10:00～11:30——あすならホーム畝傍——サロンスペース 書面開催

→2ヶ月毎の開催を予定しています。家族さんの情報交換の場、地域の方、行政の方への取組み発信の場にさせて頂きたいと思ひますので参加の程よろしくお願い致します。

